

発達障がいに係る情報共有ツールの作成状況、活用状況等に関する調査(市教育機関等)

日頃より大阪市の福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、本市では、ライフステージを通じて適切な支援が引き継がれていくことは、どのような障がいのある方にとっても必要なことであり、中でも環境の変化が苦手、自分の気持ちや考えていることを周囲に伝えるのが苦手、といった特性がある発達障がいのある方への、乳幼児期から成人期までの各ライフステージにおける切れ目のない支援や移行をスムーズに行うための配慮が必要と考えており、発達障がいのある方を取り巻く状況に応じた包括的な支援が重要と考えています。

平成30年5月24日には、国より「教育と福祉の一層の連携等の推進について」(30文科初第357号・障発0524第2号)の通知が行われ、各地方自治体において、教育委員会や福祉部局の主導のもと、支援が必要な子どもやその保護者が、乳幼児期から学齢期、社会参加に至るまで、地域で切れ目のない支援が受けられる支援体制の整備の重要性が示され、平成30年8月27日には、「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について」(30文科初第756号)の通知が行われ、各学校が個別の教育支援計画を作成するに当たっては、医療、福祉、保健、労働等の関係機関や民間団体と当該児童生徒等の支援に関する必要な情報の共有を図ることが示されました。

また、発達障がいのある方を取り巻く状況として、所属機関が変わった時(幼保 小 中 高 企業など)や相談先や支援機関、支援者が変わる場面において、支援経過や、本人及び家族が伝えたい内容について、各地域で様々なサポートファイルなどの情報共有ツール(サポートブック、発達ノート等「【参考】サポートファイル等とは」参照)が作成され活用されていますが、その活用状況についてまとめられたものはありません。

そのため、今回、発達障がいのある方への支援の一貫性・継続性を保つために、各ライフステージにおけるスムーズな移行、切れ目のない支援について検討し、その後のより細やかな支援につなげるため、本人、保護者、事業者、自治体、教育機関等へのアンケートを実施することとなりました。

ご多忙中、恐れ入りますが、昨年度(平成29年4月～平成30年3月)、貴機関に在籍していた方を想定してアンケートにご回答いただきたいと考えております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

A. 貴機関等について

本調査票を作成された方(担当者)の連絡先、お名前の記入をお願いします。

校園名			
連絡先、担当者名	電話:	— —	内線: 担当:

B. 情報共有ツール(サポートブック等)に係る対応状況等について

問1 貴機関の種類(貴機関の種類に○でチェックをお願いします。複数可)

幼児関係:	<input type="checkbox"/> 保育所・園	<input type="checkbox"/> 幼稚園		
教育機関:	<input type="checkbox"/> 小学校(通常学級)	<input type="checkbox"/> 小学校(特別支援学級)	<input type="checkbox"/> 中学校(通常学級)	<input type="checkbox"/> 中学校(特別支援学級)
	<input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 高等学校(自立支援コース)	<input type="checkbox"/> 専門学校	<input type="checkbox"/> 短大・大学
	<input type="checkbox"/> 特別支援学校小学部	<input type="checkbox"/> 特別支援学校中学部	<input type="checkbox"/> 特別支援学校高等部	
その他:	<input type="checkbox"/> その他 その他の場合等は、次の欄に具体的に記入してください。			
【その他記入欄】				

問2 発達障がいのある幼児・児童・生徒(疑いのある方含む)が在籍していましたか。
(○でチェックをお願いします。)

(1) 在籍あり	<input type="checkbox"/>	➤ 問3以降の質問に回答をお願いします。
(2) 在籍なし	<input type="checkbox"/>	➤ 問8以降の質問に回答をお願いします。

問3 貴機関における発達障がいのある幼児・児童・生徒(疑いのある方含む)の在籍数(在籍割合)等をお教えてください(人数等のご記入をお願いします。複数可)

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">在籍幼児・児童・生徒数 (H29.5.1現在)</td> <td style="width: 50%;">発達障がい有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人程度</td> </tr> </table>	在籍幼児・児童・生徒数 (H29.5.1現在)	発達障がい有り	人	人程度	または在籍数の <input style="width: 50px;" type="text"/> %程度
在籍幼児・児童・生徒数 (H29.5.1現在)	発達障がい有り				
人	人程度				
上記に記載が困難な場合、次の欄に自由記載でご記入ください。					
【自由記載欄】					

問2で「(1)あり」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問4

発達障がいのある幼児・児童・生徒(疑いのある方含む)が新たに就学することになった際、どのような機関から情報提供がありましたか。(提供頻度にチェック☑でご記入願います。複数可)

情報提供元	発達障がいのある方の情報提供頻度						
	全員	大多数	半数	一部	ごく一部	提供なし	その他
(1)前所属機関	<input type="checkbox"/>						
(2)ご本人	<input type="checkbox"/>						
(3)ご家族	<input type="checkbox"/>						
(4)相談支援事業所	<input type="checkbox"/>						
(5)発達障がい者支援センター	<input type="checkbox"/>						
(6)こども相談センター・区役所	<input type="checkbox"/>						
(7)放課後等デイ等通所支援事業所	<input type="checkbox"/>						
(8)医療機関	<input type="checkbox"/>						
(9)その他	<input type="checkbox"/>						

「その他」の場合等は、次の欄に具体的に記載ください。

【自由記載欄】

問2で「(1)あり」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問5

発達障がいのある幼児・児童・生徒(疑いのある方含む)が新たに就学することになった際、前所属機関・相談支援機関・ご本人・ご家族などから、具体的な情報提供があった時期をお教えてください。(複数可)
(一番多い時期等は で、一部事例の場合は○、稀な事例は でチェックをお願いします。)

情報提供者	情報提供実績等(、 、 でご回答願います。)					
	就学・進学・転入前	就学・進学・転入後	就学・進学・転入後			
			1か月以内	3か月以内	半年以内	1年以内
(1)前所属機関						
(2)ご本人						
(3)ご家族等						
(4)相談支援事業所						
(5)発達障がい者支援センター						
(6)こども相談センター・区役所						
(7)放課後等デイ等通所支援事業所						
(8)医療機関						
(9)その他						

問2で「(1)あり」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問6 - 1 発達障がいのある幼児・児童・生徒(疑いのある方含む)が新たに就学することになった際、前所属機関・相談支援機関・ご本人・ご家族等から、どのような媒体(情報共有ツール)で情報共有・情報提供がありましたか。(○でチェックをお願いします。複数可)

情報提供者	媒体名・情報共有ツール名(でご回答願います。)						
	サポートファイル	サポートブック	本市の発達ノート	情報提供書	就学支援ノート等	口頭	その他媒体
(1)前所属機関							
(2)ご本人							
(3)ご家族等							
(4)相談支援事業所							
(5)発達障がい者支援センター							
(6)こども相談センター・区役所							
(7)放課後等デイ等通所支援事業所							
(8)医療機関							
(9)その他の情報提供者							

「その他媒体」・「その他の情報提供者」の場合は、次の欄に具体的に記入してください。

【その他自由記載欄】

問2で「(1)あり」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問6 - 2 上記問6 - 1で回答いただいた媒体・情報共有ツールでの情報提供はどのような状況で行われましたか。(○でチェックをお願いします。複数可)

情報提供者	情報共有実施の状況(でご回答願います。)						
	対面で	郵送で	FAXで	メールで	会議の場で	電話で	その他
(1)前所属機関							
(2)ご本人							
(3)ご家族等							
(4)相談支援事業所							
(5)発達障がい者支援センター							
(6)こども相談センター・区役所							
(7)放課後等デイ等通所支援事業所							
(8)医療機関							
(9)その他の提供者							

「その他」・「その他の提供者」の場合等は、次の欄に具体的に記載ください。

【その他自由記載欄】

すべての機関等において、次の質問の回答をお願いします。

問7 学校園と関係諸機関等における情報共有ツールには、個別の教育支援計画等のように、決まった形があるかないかについてお教えください。（○でチェックをお願いします。）

- (1) 決まった形がある > 「(1)」にチェックされた場合、差支えなければ様式等の提供をよろしくお
願います。問9にお進みください。
- (2) 特にない > 問10にお進みください。

問8で「(1)決まった形がある、(2)情報提供元にある」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問8 決まった情報提供ツール等がある場合、使用感をお教えください。（○でチェックをお願いします。）

- (1) 使いやすい }
(2) 使いにくい } 次の欄に、そのように感じる理由を具体的に記入してください。

【自由記載欄】

すべての機関等において、次の質問の回答をお願いします。

問9 事前に情報共有ツールで情報提供があった場合、活用することはありましたか。
（○でチェックをお願いします。）

- (1) 活用した
(2) 活用したかったが、活用しなかった
(3) 活用しなかった } > 次の欄に、活用しなかった理由を具体的に記
入してください。

【自由記載欄】

すべての機関等において、次の質問の回答をお願いします。

問10 事前に情報提供がなかった場合、困ったこと等の有無をお教えください。（○でチェックをお願いします。）

- (1) 困ったことが有った
(2) 困ったことが無かった

次の欄に、具体的に困ったこと、困らなかったことの状況・原因等を記入してください。

【自由記載欄】

すべての機関等において、次の質問の回答をお願いします。

問11 学校園に在籍していた発達障がいのある幼児・児童・生徒(疑いのある方含む)が、就学・進学や転出等の際に情報提供を行いましたか。(○でチェックをお願いします。)

(1) 情報提供を行っている・行った	<input type="checkbox"/>	} > 問12にお進みください。
(2) 次の機関等より求められた時のみ行っている	<input type="checkbox"/>	
(3) 情報提供は必要だと思うが、現状できていない	<input type="checkbox"/>	} > 次の理由記入欄に理由をご記入のうえ、問14にお進みください。
(4) 情報提供は行わなかった	<input type="checkbox"/>	
(5) 対象者がいないので情報提供した経験はない	<input type="checkbox"/>	

【情報提供を行わなかった理由記載欄】

問11で「(1)、(2)」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問12 上記問11で情報提供を行ったことのあると答えられた方にお伺いします。どのような媒体・情報共有ツールで、どのタイミングで次の機関等に情報提供を行いましたか。(複数可)
(全て提供された場合は で、一部の場合は○、特別な事例のみは でチェックをお願いします。)

情報提供方法	情報提供実績等(、 、 でご回答願います。)						
	就学・進学・転出前	就学・進学・転出後	就学・進学・転出後				
			1か月以内	3か月以内	半年以内	1年以内	1年超
(1) サポートファイル							
(2) サポートブック							
(3) 本市の発達ノート							
(4) 情報提供書							
(5) 就学支援ノート等							
(6) 個別の教育支援計画							
(7) 口頭							
(8) その他							

「その他」の場合等は、次の欄に具体的に記載ください。

【その他自由記載欄】

問11で「(1)、(2)」にチェックされた方は、次の質問に回答をお願いします。

問13 上記問11で情報提供を行ったことがあると答えられた方にお伺いします。問12で回答いただいた媒体・情報共有ツールはどのような状況で提供されましたか。(○でチェックをお願いします。複数可)

情報提供場面	情報共有実施方法(ご回答願います。)					
	対面	郵送	FAX	メール等	電話・口頭	その他
(1) 移行支援会議等						
(2) 次の機関・施設						
(3) ご本人・ご家族						
(4) 相談支援事業所との調整等						
(5) 発達障がい者支援センターとの調整等						
(6) こども相談センター・区役所との調整等						
(7) 放課後等デイ等通所施設との調整						
(8) 医療機関との調整						
(9) その他						

「その他」の場合等は、次の欄に具体的に記載ください。

【その他自由記載欄】

すべての機関等において、次の質問の回答をお願いします。

問14 就学・進学や転出入等の引継ぎの際に、使用する情報共有ツールの望ましい仕様・様式をお教えください。(望ましい「」、どちらでもない「」、望ましくない「×」でご記入願います。)

項目	望ましいと思われる仕様							
	A3	A4	A5	A6	B4	B5	B6	その他
(1) 1枚当たり大きさ(紙の場合)								
(2) 1冊当たりのページ数(紙の場合)	1P	2~5P	6~10P	11~20P	21~40P	41~50P	その他	
(3) 材質	紙ノート式		紙ファイル(加除式)		電子		その他	
(4) 編集	全ステージで1冊		児童生徒、就労で2分冊		各ステージ毎複数冊		その他	

その他の場合、次の欄に具体的に記載ください。

【自由記載欄】

その他や、表に記載のもの以外に移行時に役立つと思う項目・情報、役立ちにくかったと感じた理由等があれば、次の欄に記入してください。

【その他自由記載欄】

--

その他、障がいのある幼児・児童・生徒に係る支援の引継ぎに関して、ご意見等を自由に記入してください。

【引継ぎについて自由記載欄】

--

その他、障がいのある幼児・児童・生徒全般に係る内容において、ご助言等ありましたら、記入してください。

【自由記載欄】

--

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査表に関するお問合せ先

〒547-0026

大阪市平野区喜連西6-2-55

大阪市発達障がい者支援センターエルムおおさか

(担当:井上・鹿野)

電話:06-6797-6931

FAX:06-6797-6934

大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター発達障がい者支援室

(担当:森本・吉峰)

電話:06-6797-6560

FAX:06-6797-8222

E-mail:chousa@fukspo.org

【参考】サポートファイル等とは

サポートファイルとは

・保護者の方が、お子様との日々の関わりや病院、福祉施設、保育園、学校等で受けた支援内容などを書きつづり、記録・保管したファイルです。

これを関係機関へ掲示することで、正確な情報の伝達が図られ、一貫した支援が受けられやすくなります。

サポートファイルには、「生育歴」「あゆみ」「睡眠・食事など支援の際の特性を考慮した情報」などを記入することができます。

サポートブックとは

・障がいの種別に関わらず、お子様が初めて接する人(例えば、ボランティアや新しい担任の先生など)に、お子様の特性や接し方について知ってもらうため、次のような情報を書いておくものです。

名前や連絡先、障がい特性など基礎となる情報

子どもの好きな遊び、かかわり方や苦手なもの等の情報

食事やトイレ、着替えなど、その時に必要な情報

要求のしかた、拒否のしかたなど、コミュニケーションのとり方

不安や過敏、パニックへの対応など

発達ノートとは

・大阪市においては、発達障がいのある方が、周りの人たちとうまくコミュニケーションがとれないために誤解されたり、障がいたということが理解されずに適切な支援が受けられなかったりする困難さを少しでも軽減できるようにと作成したノートです。発達障がいのある方が周りの人たちと関わるときのお手伝いをするノートで、本人やそのご家族が、本人と関わる相手に知っておいてもらいたいと思うことを書き込んでおき、相談機関に行くときや初めての人と接するときにこのノートを提示していただき、より良い関係が築けることを目的として大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」で配布しています。

【参考:発達ノートについて】

<http://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/cmsfiles/contents/0000043/43881/hattatuno-to24.8.1.pdf>

情報提供書とは

・症状・診断・治療など、現在までの診療の総括と紹介の目的等のため作成されます。他の医療機関との有機的連携や保健福祉関係機関との診療情報の相互提供を行うことで、医療の継続性を確保し、医療資源・社会資源の有効利用を図るために利用されます。紹介する際にこれまでの診療内容があれば、新しい施設で改めて検査や診断が不要になるなど、二重の負担が発生しない効果があります。一般的には紹介先医療機関が指定する様式に従って、照会元の医師が記入します。

就学支援ノート等(就学支援ノート・就学支援シート)とは

・就学支援ノート等とは、家庭や認定こども園・幼稚園・保育園等におけるお子様の様子や保育の様子指導内容・方法の工夫や配慮などを小学校等に引継ぎ、豊かで楽しい学校生活を送るために保護者、各園等の様々な思いを学校へ橋渡しをしていく資料です。就学支援ノート等を提出し、あらかじめ小学校等に苦手なこと・体質的なこと・行動の特徴などを伝えておくことで、小学校等に適切な配慮をしていただくことができます。